

# 狐塚古墳(糸島市)

正面が狐塚古墳/円墳/5世紀前半の築造/説明板が立っている/北西側から見たところ



# 国史跡曾根遺跡群 狐塚古墳

糸島市 曾根字中340番地5他（1982年10月指定）

三雲・井原遺跡を望む墳丘径33m、現存高4mを測る大型円墳です。墳丘周囲に幅5mほどの周壕がめぐります。

墳丘は3段に土を築き固めてつくられており、各段の斜面には葺石を施しています。

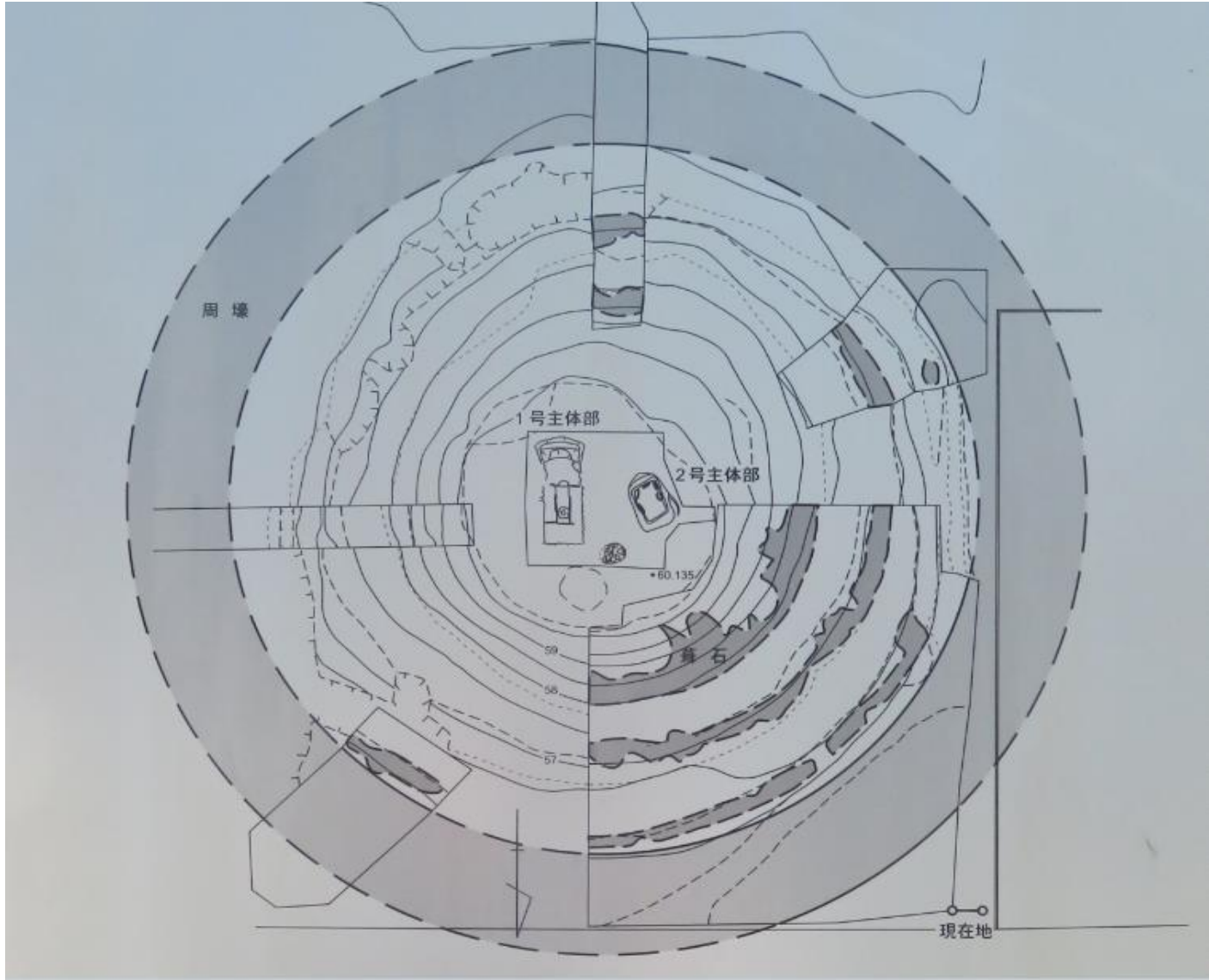
古墳の頂上では2基の埋葬施設が確認されました。中心となるのは1号主体部と呼ばれている横穴式石室です。わが国の横穴式石室のなかでも初期の資料として知られています。石室入口は斜め上方から入るように通路（墓道）が設けられ、大きな板石を2枚立て並べて築いた入口部（前壁）から石室に入ることができます。

石室は奥行2.60m、幅1.60mで、床を板石で仕切っており（石障）、複数の遺体を埋葬することができます。

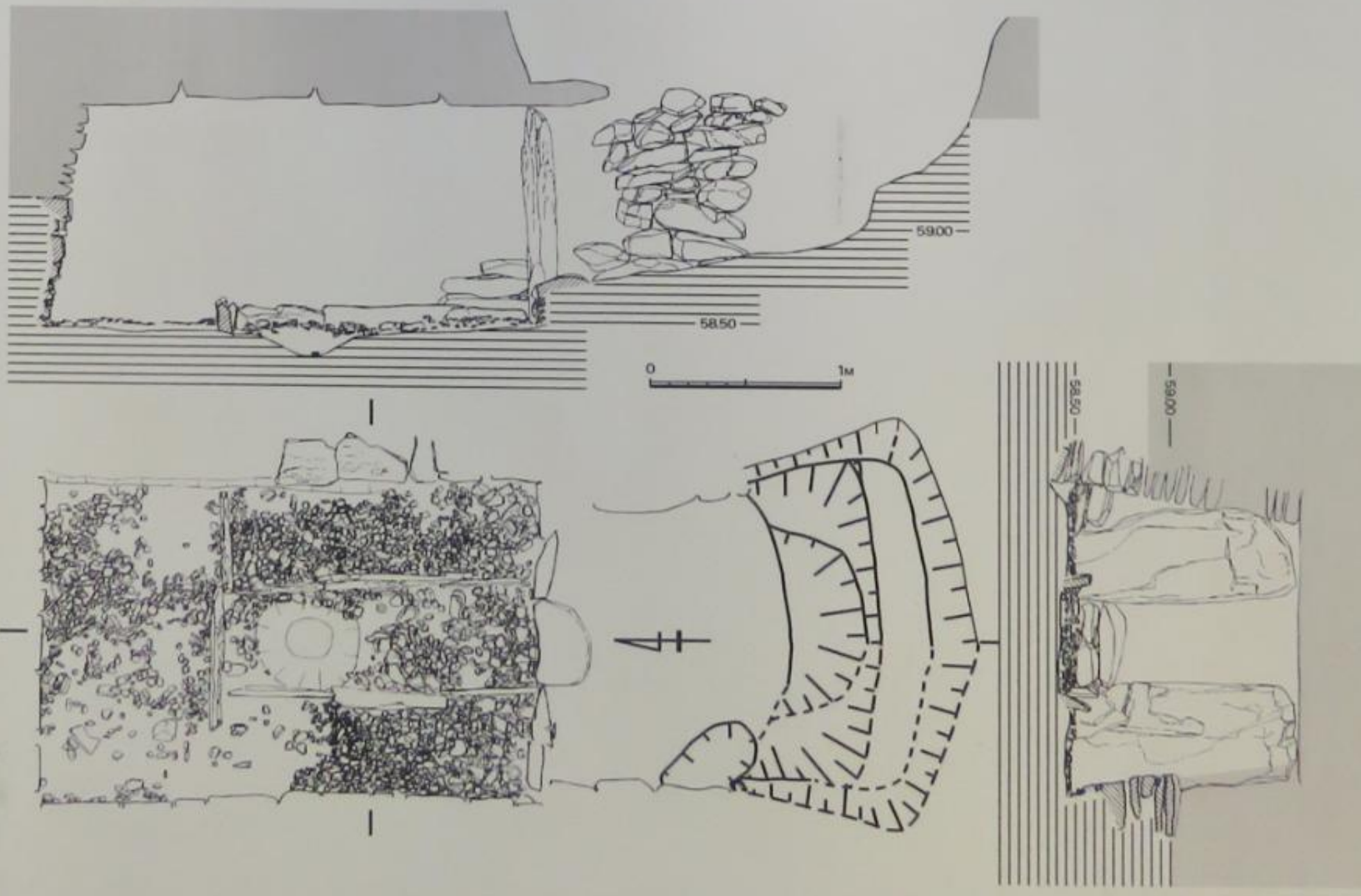
2号主体部は小型の竪穴式石室と考えられています。石室の内から漆塗りの竪櫛が、外からは鉄矛が2本出土しました。

古墳が築かれた年代は、石室の構造から古墳時代中期（5世紀前半）と推定されます。この古墳の被葬者は怡土平野一帯を治めた首長であったと考えられます。

曾根狐塚古墳は、わが国の古墳文化を研究する上で貴重な文化財です。大切に保存しましょう。



1号主体部实测图



これは葺石の名残りなのか



三段築成で周濠が巡る/主体部は横穴式石室の1号主体部と小型の竪穴式石室の2号主体部の2基がある/北東側から見たところ



左手に周濠の感じを見たところ



南東側から見たところ





南側から見たところ



葺石の名残りが散在する



墳頂に登った所/かなり大きな石が散在するが石室のものだろうか



南西方向を見下ろしたところ



## 参考ホームページ

<http://www.itoshima-kanko.net/cat/%E7%8B%90%E5%A1%9A%E5%8F%A4%E5%A2%B3%EF%BC%88%E3%81%8D%E3%81%A4%E3%81%AD%E3%81%A5%E3%81%8B%E3%81%93%E3%81%B5%E3%82%93%EF%BC%89/>

<http://www.city.itoshima.lg.jp/s033/010/020/010/110/090/kitsunezuka-kohun.html>

<https://ameblo.jp/indyaki12/entry-12326616789.html>

<http://www.hb.pei.jp/sokuseki/fukuoka/sone-kitsunezuka-kofun/>

[https://lovery-iruka.at.webry.info/201312/article\\_12.html](https://lovery-iruka.at.webry.info/201312/article_12.html)

<http://kofunmeguriwalking.web.fc2.com/kitsunezuka.html>

